

## 令和 5 年笛吹市議会第 3 回定例会

行政報告の前に、去る 7 月 17 日に急逝されました前島敏彦議員への追悼の言葉を申し上げます。

前島議員には、これまで様々な場面で、御指導や御助言を賜ってきました。どっしりと大きく構えられ、大所高所に立つてのお話しは、私にとって大切なものであり、幾度となく助けられていたものと感謝しています。

思いやりと優しさに溢れた前島議員には、これからも政治の指南役としてお導きいただけるものと信じていたところでしたので、失った喪失感と悲しみは計り知れません。

この悲しみを乗り越え、前島議員からの教えを胸に、本市の更なる発展のために力を尽くしていくことこそが、私の恩返しだと思っています。

生前の御功績と市政発展への御尽力に対しまして、深く敬意を表しますとともに、心から哀悼の意を表します。

改めまして、令和 5 年笛吹市議会第 3 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、消費喚起キャンペーン事業についてです。

市内の事業者支援とともに、昨年 7 月に本市を含む峡東地域の農業が世界農業遺産に認定されたことを記念して、6 月 1 日から 7 月 31 日まで、PayPay を利用した「未来へつなごう笛吹・祝世界農業遺産最大 30%戻ってくるキャンペーン」事業を実施しました。

令和 3 年度に 3 か月間行った同様の事業では、対象店舗が約 800 店舗、決済総額が約 19 億円でしたが、今回は、2 か月間の実施で、対象店舗が約 1,000 店舗、決済総額が約 37 億円となり、市内外の大勢の方に御利用いただき、地域経済の活性化に寄与できたと考えています。

また、祝世界農業遺産と銘打ったキャンペーンは、対象店舗に掲げたのぼり旗、掲示されたポスター、PayPay 株式会社の広告により、世界農業遺産の認定を広く周知することができました。

次に、笛吹市夏祭りについてです。

7 月 20 日から 8 月 17 日までの間、「笛吹川石和鶺鴒」を計 16 回実施し、延べ 12,500 人が訪れました。新型コロナウイルス感染症の影響により少なかった外国人観光客の方々も、今年は大勢訪れ、全国でも珍しく、伝統ある徒歩鶺鴒の実演に加え、鶺鴒匠体験を楽しんでいました。

8 月 19 日と 26 日には「石和温泉花火大会」を実施し、延べ 5 万人を超える方が訪れました。今年は大勢訪れ、全国でも珍しく、伝統ある徒歩鶺鴒の実演に加え、鶺鴒匠体験を楽しんでいました。

次に、県中学校総合体育大会の結果についてです。

7月25日から30日まで県中学校総合体育大会が開催され、選手は積み重ねてきた練習の成果を精一杯発揮しました。

石和中学校の弓道男子個人、御坂中学校の剣道男子個人、浅川中学校の相撲団体、春日居中学校の共通女子100メートルハードルで優勝したほか、上位入賞も多数あり、優秀な成績を収めました。

上位入賞を果たした個人及び団体は、県代表として関東大会や全国大会に出場し、おおいに健闘しました。

次に、笛吹市多目的芝生グラウンド整備基本計画説明会についてです。

8月24日、25日の2日間、いちのみや桃の里ふれあい文化館で、市民の皆様を対象にした、笛吹市多目的芝生グラウンド整備基本計画の説明会を開催しました。2日間で延べ298人に出席いただく中、基本計画で示した、整備目的、整備方針、導入する施設、整備候補地、概算事業費、スケジュールなどを説明しました。

説明会では、市民の皆様が整備に関し疑問に思っていることにお答えする、質疑応答の時間も設け、本市が進めている多目的芝生グラウンドの整備について、理解を深めていただけたと思っています。

今後は、整備候補地の地元の皆様、また、地権者の皆様に、整備内容等について御説明していきます。

次に、子育て世帯への食料支援についてです。

本市では、認定NPO法人フードバンク山梨と連携を図る中、平成28年度から、夏休みや冬休みなどの学校給食が提供されない期間を中心に、子どもの食事が安定して確保されるよう、食料支援を行っています。

今年度は、フードバンク山梨の取組である「こども家庭プロジェクト」で7月、8月、12月に、本市独自の取組である「子ども家庭支援事業」で10月と3月に、子育て中の生活困窮世帯へ食料支援を行うこととしており、7月と8月には、市内の約200世帯へ食品を発送しました。

この官民が連携して行う食料支援は、全国でも注目されており、7月31日にはNHKにおいて全国放送されました。

次に、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業についてです。

本市では、物価高騰による負担が増加していることを踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり3万円を給付することとしています。

7月11日には、対象の約7,200世帯に対し、支給要件や振込口座などを確認する書類を送付しました。返送された書類を確認後、順次振込みを行っており、8月31日現在、5,493世帯に給付金を給付しています。

次に、学校給食アレルギー対応事業についてです。

御坂学校給食共同調理場及び八代学校給食センターでは、小・中学校の夏休みを利用し、食物アレルギーに対応した除去食を作るアレルギー専用調理室を設置する改修工事を行いました。これにより、御坂及び八代地域の小・中学校では、2学期から、アレルギー原因物質である牛乳、卵、えびを除いた給食を提供できるようになりました。

令和6年度は、石和中学校調理場及び春日居学校給食共同調理場においても改修工事を予定しています。今後も、食物アレルギーを持つ児童生徒が給食の時間を安心かつ楽しく過ごせるよう、また、お弁当を作る保護者の負担軽減が図られるよう、良好な給食環境の確保に努めていきます。

次に「津田青楓展」の開催についてです。

本市では、京都に生まれ、着物の図案制作や油絵、日本画、書など多方面に活躍した津田青楓の作品を多数所蔵しています。

それらの作品を多くの方にご覧いただき、魅力を知ってもらうため、9月7日から令和6年3月10日まで、青楓美術館において「青楓作品との対話」と題し、市内の小学生が青楓の作品を見て書いた鑑賞文と、その題材になった作品を展示します。

また、9月9日から12月17日まで、春日居郷土館において、「津田青楓～20世紀最後の文人画家～」と題した企画展を開催し、青楓が洋画を離れ、伝統的な日本画の探求を進めてから晩年までの作品を紹介します。

次に「スポーツ講演会」の開催についてです。

10月14日、スコレーセンターにおいて、小平奈緒さんのトークショーが開催されます。

小平さんは、平昌オリンピックスピードスケート女子500メートルでの金メダルをはじめ、国内外の大会で37連勝という輝かしい成績を残し、昨年現役を引退されました。

今回のトークショーでは、トップアスリートとして世界の舞台で活躍を続けてきたその体験やこれまでの競技人生からの学びなどをお話しいたします。

スポーツの楽しさ、夢を持つことの素晴らしさなどを感じていただけるよう、大勢の市民の皆様に観覧いただきたいと思えます。

次に、笛吹市秋祭り川中島合戦戦国絵巻についてです。

11月5日に開催を予定している「川中島合戦戦国絵巻」は、参加者だけでなく観覧している方々にも楽しんでいただけるよう、昨年に引き続き、シナリオに沿った合戦に加え、綱引きや大玉転がしといった競技性を持たせた内容を盛り込みます。

また、武田信玄公役に空手家の角田信朗さんに出演いただき、入陣の際には仮橋付近まで馬で登場する演出や新たに山梨県弓道連盟笛吹支部の皆様による弓隊の演舞も予定しています。

令和5年9月4日

笛吹市長 山下 政樹